

# 青谷かみじち史跡公園 重要文化財展示室展示資料

2024年11月26日～2025年3月2日

## 主な新展示資料

### 琴板

弥生時代中期後葉(紀元前1世紀頃)



スギで作られた箱形の琴の側板。中央に音孔が開けられ、その両脇にユニークな動物の絵が陰刻される。中央の動物は他の出土品に見られる図像との比較からシカと推定される。左端と右2頭はモチーフが同じだが、動物の種類は諸説あり不明。左から2頭目も元はこれらと同じだったが、彫り直して頭部の形を変えている。

だいつきつぼ

### 台付壺

弥生時代後期中葉(2世紀頃)



土器の優品。表面に渦巻きや半円を重ねたような文様を連続して施し、さらに赤色の顔料を塗って飾り立てている。日用品ではなく、祭祀など特別な場で用いられたものと考えられる。

ちゅうぞう てっぶ

### 鑄造鉄斧

弥生時代後期～古墳時代前期前葉(1～3世紀頃)



中国北東部・朝鮮半島北西部で製作された鑄鉄製の斧。交易拠点としての青谷上寺地遺跡を象徴する資料。木材の伐採などに使われた。